

## 大会のしおり

1. 盛和塾《 静岡 》
2. お名前： 米山 忠弘
3. 会社名：(株) 米山製作所
4. 役職：代表取締役社長
5. 年齢：56 歳
6. 事業内容：  
プラスチック製品の成型加工、金型設計、製作



7. 受賞理由  
2年間で売上を1.6倍に伸ばし、平均17%を超える売り上げを維持した。

### 8. 会社紹介

弊社は、先代の社長である私の父が高度成長下の1967年に、農業から製造業に転身し、自動車部品のパイプ曲げ加工から創業しました。

その後、プラスチック製品の成型加工業を兼業し、1978年に有限会社米山製作所を設立しました。

創業以来、約50年間“もの造り”にこだわり、時代の変化に柔軟に対応して事業を多角化し、現在は、プラスチック成型加工を主業務として、その金型設計と製作、自動車関連、プラモデル、さらには医療機器等、幅広い分野のお客様と取引させていただいています。

こうした中で持続的な成長を遂げることができ、2015年に株式会社へと移行しました。

“お客様の満足と信頼を得る商品を提供することにより、従業員の豊かな暮らしを実現する”という経営理念の下、付加価値のある製品を、納期通りに、適正な価格で提供することをモットーに“愚直でシンプル”な経営を心掛け、従業員一同、力を合わせ、助け合い、お客様の信頼、尊敬を得ることを目標にしています。

		
社屋写真	工場内全景	クリーンルーム成形室 クラス 10000
		
クリーンルーム検査室 クラス 10000	医療用部品金型	自動車配管用部品
		
自動車配管用キャップ各種	医療用部品-1	医療用部品-2

9. 創業年： 1967年（昭和42年）

10. 本社所在地：〒411-0541

静岡県駿東郡長泉町上土狩 188-1

11. 直近売上： 15億 1000万円（2015年8月）

12. Webサイト： <http://www.yoneyama-ss.com/>

13. 事業所数： 2ヶ所

14. 従業員数（2016年4月現在）：正社員 41人 / パートアルバイト 36人

## 15. 盛和塾との出会い・学び

2004年、売上が6億台で伸び悩んでいたとき、盛和塾静岡の塾生と知り合いになったことが、盛和塾との出会いでした。盛和塾の機関誌を初めて読ませてもらい、強く感動したのを覚えています。是非一度、塾長の生の声を聞いてみたい。その思いで、2012年6月に入塾しました。

私は通常例会にもあまり出席しない、真面目な塾生ではないかもしれません。

しかし、毎日朝礼での塾長の箴言集の唱和、機関誌の熟読、年1回夫婦での世界大会への参加。これだけは守っています。

私は、“売上最大、経費最小”、シンプルで無駄の無い経営を常に考え、

“動機善なりや、私心なかりしか”、それが従業員の為か、地域の為か、日本の為かを判断基準にしてきました。そして、“謙虚にして驕らず”、会社がうまくいけば、すぐに有頂天になり自分の力で成功したのだと驕り、やがて没落する”という教を肝に銘じて経営に取り組んでいます。

## 16. 今後の目標)

今回の受賞は本当に驚きです。それと同時に、弊社にとって大きな励ましと反省の機会であると感じます。

これまで、お客様に恵まれ、いろいろな仕事に挑戦させていただき、それを従業員皆で力を合わせ、必死に乗り越えてきました。売上等の数字だけを見れば順調に推移しているように見えますが、社内体制は乗り越えなければならない問題が山積しています。

これからも一つ一つ、明るく前向きに、強い気持ちでクリアしていき、従業員の幸せを考え、良いモノを、適正な価格で、お客様に提供して喜ばれる“いい会社”となるように努力していきたいと思います。

## 機関誌「盛和塾」大会特集号

お名前（ 米山 忠弘 ）

### ① 経営者賞受賞に至るまでの道のりで経営上苦勞されたこと

29年前、父の病気で、何もわからぬまま会社に入り、何も出来ない、仕事も無いところからの出発でした。売上は8千万円でした。

どうしたら仕事をいただけるのか？それだけを考えていました。

お客様から少しずつ仕事をいただき、約束を守り、薄紙を重ねるように信用を重ねていきました。働くことは大好きです。

真面目に一生懸命に働いていれば必ず良い事が起こる、景気も良くなると、楽天的に物事を考え、常に先頭に立ち仕事に取り組んできました。

15年が経過し、お客様の信頼を少しずつ得る事が出来、仕事量が増え、売上が5億円を超えたころから、遅まきながら経営を意識し始め、ヒト、モノ、カネの重要性を考えはじめました。

そして、売上が10億、15億を超えた今でも、従業員の働く意識を高めるにはどうしたら良いか、財務力の強い会社にするにはどうしたら良いか、会社の将来を考え、悩み続けています。

塾長の言われる、“立派な会社を作る事よりも、立派になった会社を守っていくことのほうがはるかに難しい。” 終わりなき挑戦を楽しみたいと思います。

### ② 経営数値向上のために努力されたこと

全製品の利益計算を管理し、月次決算を迅速に対応し、“売上最大、経費最小”というシンプルでムダの無い経営を常に実行しています。

お客様に恵まれ、いろいろな仕事に挑戦させていただき、それを従業員皆で力を合わせ、必死に乗り切ってきた結果です。

### ③ 従業員と共有した思いなどについて

毎日の朝礼で、塾長の箴言集を唱和し、生きること、働くことの意味や、仕事を通じて私たちが果たしている社会での役割について、皆で学び、語り意識を高め続けています。

これからも、明るく前向きに、強い気持ちで、従業員の幸せを考え、小さくても強い会社、“いい会社”となれるよう皆で努力していきます

ありがとうございました。